

【社会 小5 「工業生産を支える輸送と貿易」】

育成を目指す資質・能力

ねらい：工業製品の輸送方法を比較することで、運ぶものの種類や条件によって輸送手段を使い分け、組み合わせることを理解することができる。

ICT活用のポイント

ホワイトボード機能でデジタル付箋を簡単に動かしながら、工業製品の輸送手段のパターンについて理由を踏まえ考察することで、個の学びをいかして集団解決へとつなげ、言語活動の促進を図る。

【つかむ】

前時の流れを想起し、
本時のめあてを設定する

何種類かの工業製品を鹿児島から〇小デパート(玉村町)まで輸送するにはどのような運び方が最適であろうか。

【追究する】

運ぶものの種類や条件によって、
輸送手段を使い分け、組み合わせることを説明する。

【まとめる】

本時のまとめを行い、学習内容を振り返る。

事例の概要

種類や条件の異なる工業製品を鹿児島から〇小デパートまで輸送するには、トラック、鉄道、船、飛行機の輸送手段をどのように使い分け、組み合わせるのが最適であるかを理由を踏まえ説明する。

事例におけるICT活用の中心場面

【事例におけるICT活用の場面① 自力解決】

〇前時の流れを想起しながら、鹿児島から〇小デパート(玉村町)まで各工業製品を運ぶ際の最適な輸送方法をホワイトボード機能のデジタル付箋を動かし、組み合わせて図式化して提案する。

【事例におけるICT活用の場面② 集団解決】

〇ICT端末を用い、一人一人が考えた輸送方法をグループで話し合い、最適な輸送方法を試行錯誤しながら一つに練り上げる。

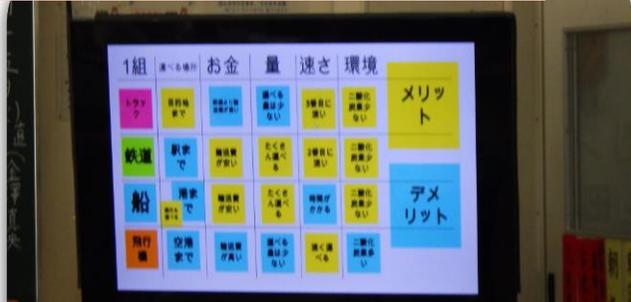
【事例におけるICT活用の場面③ 全体での焦点化】

〇各グループが考えた6通りの輸送方法を学習支援ソフトで比較することで、工業製品の輸送方法の共通点や相違点を焦点化する。

【社会 小5 「工業生産を支える輸送と貿易」】

【事例におけるICT活用の場面①】

自力解決する



各輸送方法のメリット、デメリットは確か、これだったよな。ゲームを安く大量に運ぶためには、船と何を組み合わせたらいいのだろう？精密機械だし、輸送中に壊れてしまうのも困るな。



ホワイトボード機能を使い、何種類かの工業製品の最適な輸送方法について、輸送手段や理由が書かれたデジタル付箋を試行錯誤しながら動かして組み合わせ、課題に対して自力解決した。

【事例におけるICT活用の場面②】

集団解決する

東京から〇小までは、トラックだと直接運べるけれども、大量にあるからなあ。倉賀野駅まで鉄道の方がいいのかな・・・。



ただ、倉賀野駅からトラックへの荷物の積み替えの手間と時間が増えるのが気になるなあ。

各自が考えた輸送方法を一人一人のICT端末で見せ合い、集団解決しながら最適な輸送方法を話し合った。考えは図式化してあるので、視覚的に捉え、比較しやすく、考えを集約するのに役立った。

【活用したソフトや機能】 ・学習支援ソフト

【事例におけるICT活用の場面③】

全体で共通点や相違点を出し合い、焦点化する

輸送費や輸送スピードだけが理由ではなさそうだね。



確かに、トラックは便利だけれども、環境への配慮を考えると組み合わせは変わってくるな。

学習支援ソフトで各グループが考えた6通りの輸送方法を大型モニターで比較することで、多面的・多角的な考察につなげ、工業製品の輸送方法の共通点や相違点を焦点化することができた。

・ホワイトボード機能 ・大型モニタ